

小国高校

Vol.85
2010.3

ジャーナル

資格試験特集

第69回 簿記実務検定 合格者

本校初



桐生和枝(3-1)

1 級

簿記実務検定は帳簿に記録・計算・整頓する簿記の約束事の理解を目的とし、就職や進学に大変有利な資格と言えます。このたび、桐生和枝(3-1)が1級に、林洸也(2-1)が2級に合格を果たしました。

『私は簿記検定1級を取得しました。昨年、先生に「小国高校でこれまで受験した人は誰もいない。おまえが初めてだがやってみるか?」と勧められ、ついついのせられて「はい」と言っていました。しかし実際勉強してみると、当然のことながら非常に難しく、覚えることがどん

どん出てきて大変でした。わからなくて何度も勉強するのが嫌になりました。途中投げたしたくなったことも1回や2回ではありませんでした。

でも、自分で「はい」と言った事を思い出し、ここでやめたら自分に嘘をつくような気がして何とか頑張ってみました。試験が終わって「合格!」と聞いた時は、とてもうれしかったです。大変だったけど今まで勉強してきたことは、無駄にならないと思いました。ある人が言っていた「努力は人を裏切らない」という言葉を思い出し、これまでの苦労は今後もいろんなことで活かせると思います。講習が終わるまで待っていてくれた家族にも感謝しています。ありがとうございました。』(桐生和枝)



林 洸也(2-1)

2 級

第42回 情報処理検定 合格者

3 級

受験番号順

安達桃子 猪川恵人 菅 千尋 木村勇貴 斎藤彰人
齋藤 涼 中塚 悠 舟山成美 見川尚輝 伊藤愛里
伊藤赤威 遠藤菜津美 齋藤真莉子 佐藤良樹 佐野聡美
色摩七海 舟山茉帆 舟山美乃里 峰田祐輔 井上結香

情報処理検定とは、表計算ソフト・データベースソフトに関する知識や技術を学習することで、現代社会における情報の活用という重要な能力を養うための資格試験です。

TOEIC Bridge 成績上位者

140点以上 伊藤祥希(2-2)

130点以上 今 駿平(2-1) 齋藤 陽(2-2)
峰田祐輔(1-2)

TOEIC Bridge(トイーック・ブリッジ)とは、学生や社会人の間で英語能力評価試験として信頼の厚いTOEICのジュニア版と呼ばれるテストです。テストの結果が合格不合格ではなく、スコア(20~180)で評価されます。TOEICが世界の英語検定のスタンダードとなった今、中学生・高校生の英語検定はTOEIC Bridgeが中心となりつつあります。TOEIC運営委員会によると、TOEIC Bridgeで使用されている英単語の多くが、中学校・高校の教科書、センター試験出題の英単語と重複しており、「日本の英語教育課程にも適応しうるテスト」といわれています。